


# まちと私の サステナビリティ研究会 “エネルギーの循環を知る”



まちのサステナビリティは、  
私のサステナビリティ。

電気や水、物流、資源など、  
私たちの暮らしを支えるさまざまな仕組みは、  
どのような構造で成り立ち、  
何に依存しているのでしょうか？



本研究会では、  
都市の暮らしを支える“システム”に目を向けながら、  
私たちの暮らしや活動と、  
地域や環境とのつながりを考えていきます。

7月30日(木)  
13:30～16:00

ハイブリッド開催  
参加費無料

現地会場: GEOCセミナースペース

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

スピーカー



(株)UPDATER(みんな電力) 菊池 斗己氏

モデレーター



立教大学 特任教授  
滝口 直樹氏

※本研究会は、全6回構成の連続企画を予定。詳細・申込み方法は裏面・HPからご確認ください。

主催: 環境省関東地方環境事務所、関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)

お問合せ: 関東EPO 山本・高橋 TEL: 03-3406-5180 Mail: [kanto-epo@geoc.jp](mailto:kanto-epo@geoc.jp)

詳細リンク



## こんな方におすすめです

都市部で、自治・地域づくり・環境保全など地域に関わる活動に携わりながら、「このまちとどう関わり続けるか」に課題意識や関心をもつ方。

自治体職員、NPO、企業、学生など、立場を越えて共に考えたい方の参加をお待ちしています。

- 日時: 2026年7月30日 13:30~16:00 ● 開催形式: ハイブリッド(対面・Zoom配信)
- 現地会場: GEOCセミナースペース (〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F)  
★アクセスはこちら: <https://www.geoc.jp/access.html>

## エネルギーの循環を知る

今回のテーマは、「エネルギーの循環」。  
私たちが日々使う電気や熱は、どこで生まれ、どんなシステムを通じて届いているのか。その構造や外部への依存、そして暮らしの裏側で生まれている影響について考えます。「どうすればよいか」という単純な正解探しではなく、もし社会の“OS”そのものを見直すとしたら、どんな暮らし方や仕組みの可能性があるのか——。  
参加者同士の対話を通して、多様なアイデアや視点を探っていきます。

### ゲストスピーカー | 菊池 斗己氏



株式会社UPDATER(みんな電力)  
SXコンサル&イノベーション  
本部 SXセールス部 チームリーダー

1998年生まれ。千葉商科大学人間社会学部卒業。  
2021年にみんな電力株式会社(現:株式会社UPDATER)に新卒入社。Well-being領域である「みんなエア」の立ち上げメンバーとして営業を担当し、現在は法人企業向けの脱炭素提案に従事。中でもスポーツ領域のサステナビリティ推進を担い、DeNA川崎プレイブサンダースとの脱炭素取組や水戸ホーリーホックとのC-PPA組成など、スポーツを起点としたSX(Sustainability Transformation)の実現に取り組んでいる。

### モデレーター | 滝口 直樹氏



立教大学大学院  
社会デザイン研究科 特任教授

1988年環境庁(当時)入庁。公害健康被害補償、気候変動対策、自然保護、市民協働などの政策の企画、実施を担当。国連開発計画(UNDP)研修生(IPO)などを経験。  
2011年環境省退職、フリーに。  
市民活動支援へのサポートなどに携わり、2022年より立教大学大学院社会デザイン研究科特任教授。2026年立教大学環境学部兼任講師も兼任。

## 研究会の企画について

本研究会は、2025(R7)年度から2027(R9)年度にかけて、各年度2回ずつ、全6回で構成される連続企画を予定しています。

参加された方には、メールにて、次回のご案内をさせていただきます。

## 過去回アーカイブ等

まずは昨年度の様子から。プロローグ回、テーマ回①「モノの循環を知る」の様子を公開中です。どんなテーマを、どんな雰囲気ですり合っているか、ぜひご覧ください。

プロローグ「都市の脆弱性を知る」

テーマ回①「モノの循環を知る」



開催報告



アーカイブ



開催報告



アーカイブ

今回はここ!

ひもとく  
見通す

とらえる  
深める

つなげる  
落とし込む

① | プロローグ回  
都市の暮らしが依存しているシステムを明らかにし、持続性について考えるべきテーマを洗い出す。

②③④⑤ | テーマ回(計4回)  
ゴミ・水・エネルギー・モビリティなど、システムを多面的に捉え、暮らしとのつながりの理解を深める。

⑥ | エピローグ回  
暮らしを支えるシステムの全体像をとらえ、暮らしの選択肢を見つめ直し、行動につなげる。

申込  切

7/27(月) 17:00まで

申込方法

以下のリンクまたは右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/4Pb3E9t5Zb?origin=lpLink>

